

受賞名：優秀賞

タイトル：わたしの町のおまわりさん

氏名：末廣 春馬

小学校名：大分県 国東市立富来小学校 六年

「末廣さん、こんにちは。お変わりありませんか？」

制服を着たおまわりさんが、玄関に立っています。体は丸っこくて、声は大きくて、愛きょうのある顔をしています。でも、「悪いことしていないのに、おまわりさんが来たらなんかドキッとすんな」そう思っていると、お母さんが、

「あら、おまわりさん。今年も一軒一軒回ってご苦労様やね。」

と言って、おまわりさんに話しています。

このおまわりさんは、地域で知らない人はいないくらい地域の人に溶け込んでいます。一軒一軒家を回って、家族が元気であるのかの安全確認や、オレオレ詐欺が多発しているのでその注意かん起など、地域の人が安心して日々の生活を送れるように、温かく見守ってくれています。おまわりさんの仕事は、ほかにもたくさんあります。何か事件や事故が起これば駆けつけたり、見回りを増やしたりします。お隣同士のケンカが起これば、その仲裁をしたり、交通指導もしたり、とても多忙です。

そんなおまわりさんの子どもは、ぼくと同級生でした。去年の三月におまわりさんの異動で引っこしていきました。しかし、ぼくの町にいてくれたときは、町で会うと必ず声をかけてくれたり、授業参観のときも制服で見に来てくれたりしました。見守ってくれていることが当たり前と思っていたけれど、いなくなってなんだか寂しい気持ちになりました。けれど、次のおまわりさんが来てくれて、今度はどんなおまわりさんか楽しみになりました。

おまわりさんの仕事はなくてはならない存在です。人々の生活を守ること、人の役に立てる仕事だと思います。自分が大人になってどのような仕事をしたいか、今はまだわからないけど、おまわりさんのような危険と背中合わせの世界で、使命感にあふれ社会の平和と市民の安全を守る正義の味方は、本当にすごい仕事だなと思います。おまわりさんが今日も汗だくになりながら、地域で張り切ってお仕事をしていると思うと、ぼくも「頑張ろう」と思えます。

「毎日ご苦労様です。頑張ってください、おまわりさん!!」